



2004年6月期第1四半期決算説明会

2003年11月13日

株式会社インターネット総合研究所
代表取締役 藤原 洋

(注) 当資料は、当社の2004年6月期 第1四半期算説明を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。この資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。また、本資料には2004年6月期の予想にかかわる記載がありますが、これはあくまでも当社の予想であり、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますのでご了承ください。

目 次

- 〔1〕 2004年6月期第1四半期決算ハイライト
- 〔2〕 ニュートラル・ネット・ソーシングモデル
- 〔3〕 IRIグループの今後の展開

〔1〕 2004年6月期第1四半期決算ハイライト

1. 2004年6月期第1四半期決算サマリー



(単位:百万円)

	2002/6月期	2003/6月期				2004/6月期		
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
売上高	7,711	2,117	2,719	3,529	2,941	11,306	3,871	17,000
[内訳] IPネットワーク事業	2,363	629	849	1,885	1,645	5,008	2,253	----
IPプラットフォーム事業	5,311	1,485	1,866	1,641	1,295	6,287	1,615	----
その他事業	36	2	3	3	3	11	2	----
売上総利益	1,338	302	433	494	475	1,704	346	----
販管費	2,762	463	498	489	603	2,053	567	----
内、連結調整勘定償却	475	3	3	1	0	7	0	----
営業利益	1,424	161	64	4	128	349	221	380
持分法による投資損益	2,810	165	193	161	202	721	4	----
経常利益	4,328	333	299	186	317	1,135	232	200
当期純利益	4,783	324	337	228	598	1,487	10	300

売上高: 38億71百万円

IPネットワーク事業は、エンタープライズ向けビジネスの立ち上がりとともに、機器販売等の新たな収益源が拡大。当期よりブロードバンド・エクステンジ(BBX)が連結子会社化。IPプラットフォーム事業は、着実な成長を遂げ売上拡大。

売上総利益: 3億46百万円 / 営業損失: 2億21百万円

機器販売は、コンサルティングに比較して利益率が低い。販管費は、BBXの連結子会社によりBBX分が増加するも、コスト削減を実施。

経常損失: 2億32百万円 / 当期純利益: 10百万円

ブロードバンドタワー(BBTower)の第三者割当増資に伴い、IRIの持分が減少し「関係会社持分変動益」を特別利益に計上。少額ながら最終利益を達成。

2. 2004年6月期第1四半期決算: 財政の状況



(単位: 百万円)	2002・6月期 第1四半期	2002・6月期 第2四半期	2002・6月期 第3四半期	2002・6月期 決算期	2003・6月期 第1四半期	2003・6月期 第2四半期	2003・6月期 第3四半期	2003・6月期 決算期	2004・6月期 第1四半期	前期末比
流動資産	6,713	7,229	7,088	4,987	4,814	4,880	5,243	6,278	6,933	10.4%
うち 現金及び預金	4,062	3,676	4,117	1,447	2,014	1,614	1,330	2,256	2,256	0.0%
うち 受取手形・売掛金	1,615	1,776	2,101	1,645	1,737	2,098	2,865	2,843	3,513	23.6%
固定資産	6,735	5,890	6,266	5,110	4,924	4,691	4,577	4,075	4,287	5.2%
うち 有形固定資産	182	249	2,205	2,124	2,111	2,103	2,109	2,081	2,250	8.1%
うち 無形固定資産	319	168	59	37	34	32	54	48	50	4.2%
うち 投資その他資産	6,233	5,472	4,001	2,948	2,779	2,556	2,413	1,945	1,986	2.1%
資産合計	13,449	13,120	13,355	10,097	9,740	9,571	9,820	10,354	11,220	8.4%
流動負債	1,906	2,324	3,040	2,715	2,123	2,481	3,503	4,247	4,773	12.4%
うち 支払手形及び買掛金	1,148	1,342	1,708	1,526	1,610	1,881	2,396	2,511	2,801	11.5%
うち 短期借入金	474	541	545	406	450	400	400	740	990	33.8%
固定負債	77	232	1,145	961	961	814	740	724	749	3.5%
うち 退職給付引当金	70	71	73	79	82	86	88	90	94	4.4%
うち 長期未払金	-	-	1,021	880	877	727	650	573	626	9.2%
負債合計	1,983	2,558	4,185	3,677	3,084	3,295	4,243	4,972	5,523	11.1%
少数株主持分	1,758	1,691	1,896	416	483	466	447	793	1,104	39.2%
資本金	2,050	2,081	2,083	2,188	2,191	2,202	2,202	2,226	2,226	0.0%
資本合計	9,707	8,870	7,274	6,003	5,687	5,350	5,129	4,587	4,592	0.1%
負債・少数株主持分および資本合計	13,449	13,120	13,355	10,097	9,740	9,111	9,820	10,354	11,220	8.4%

< 期首残高比較 >

流動資産の増加

- ・売掛金は、売上増加

流動負債の増加

- ・支払手形・買掛金は、売上増加に伴う仕入増加
- ・短期借入金は、タウ技研(TAU)における増加

長期未払金の増加

- ・BBTowerの設備投資に伴う未払金の増加

少数株主持分の減少

- ・BBTowerの第三者割当増資に伴う少数株主比率の上昇

(2) ニュートラル・ネット・ソーシングモデル

1. 連結業績の会社別内訳



(単位:百万円)

	2004.6期 第一四半期実績				2004.6期予想			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
IRI単体	1,397	125	136	137	6,000	85	100	100
TAU	1,577	99	99	54	6,500	450	450	250
BBTower	616	4	5	10	3,000	250	220	220
BBX	149	153	149	157	900	350	350	350
IC&O	115	27	26	16	500	50	50	50
IRI-CT	103	1	1	1	400	15	15	5
その他	2	0	0	0	10	0	0	0
合計	3,962	200	216	266	17,310	400	185	25
(連結修正)	3,871	221	232	10	17,000	380	200	300

2. 【事業別展開】IPネットワーク事業:IRI (単体) (株)インターネット総合研究所



2004年6月期1Q実績	売上:1,397百万円	営業利益: 125百万円
2004年6月期予想	売上:6,000百万円	営業利益: 85百万円

IPインテグレーション

エンタープライズマーケットへの展開を加速

コンサルビジネス(単発型)からリピートビジネス(月次収入型)へ
ビジネスモデルを転換し、資本回転率を向上を目指す

平成電電のISP向けインフラ提供事業を買収。(2003年11月現在、基本合意)
会員管理型ISP/コンテンツプロバイダー向けトラフィック交換サービス
を開始

- ・中立的に提携キャリアを選択し全国拠点を活用
- ・整備済みの全国網と相互接続を実施
ISP、インターネットとの接続コスト大幅低減
- ・IRIグループが既に保有するBBTower、BBXに関連した
インターネット・コンテンツへのアクセス性大幅向上

平成電電株式会社の概要

平成15年度決算

通信事業者としての最初の決算で黒字を達成。
(13年、14年はインターネットプロバイダとしての決算)

業績推移(1月期)/単位:百万円

	H13年	H14年	H15年
売上高	972	383	9,727
経常利益	299	1,105	416
当期利益	386	419	600
総資産	907	2,471	10,707

マイライン登録回線数

[1月末] 255,000回線

[2月末] 279,000回線

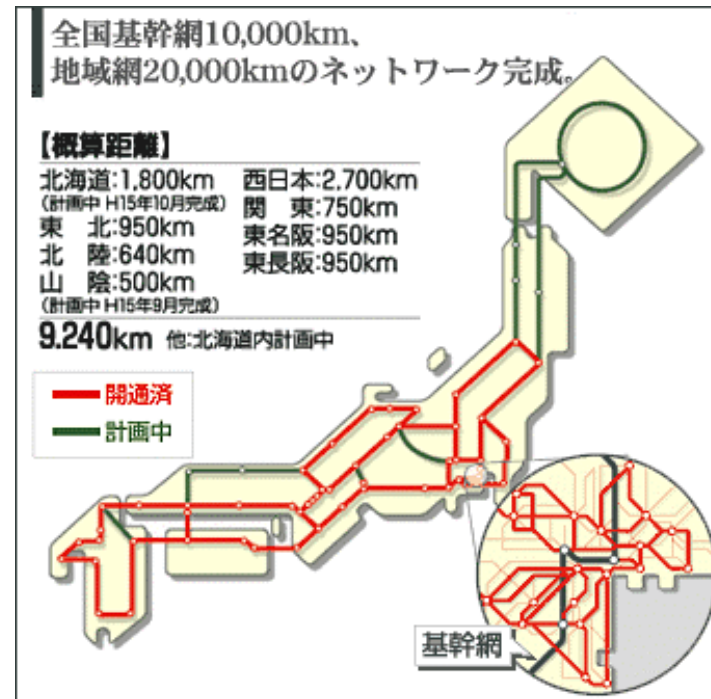
平成電電サービス契約回線数

[1月末] 306,000回線

[2月末] 349,000回線

全国ブロードバンド基幹網の構築

平成電電では現在、全国に光ファイバーネットワークを構築しています。全国をカバーする超高速大容量ネットワークが新たに完成する予定。



平成電電

<http://www.hdd.co.jp/>

都市圏ネットワークの設備

東京、名古屋、大阪、福岡などの都市圏を対象に地下鉄、鉄道、下水管路等の都市インフラに敷設されているファイバー網を利用して、平成電電ネットワークとお客様のビルを直結します。超高速、大容量ネットワークサービスをエンド・ツー・エンドで提供します。

モバイル通信関連サービス

携帯電話各社 (DoCoMo, au, j-phone, ツーカー) との相互接続による携帯電話中継サービスを提供します。

【事業別展開】IPネットワーク事業:BBTower (株)ブロードバンドタワー

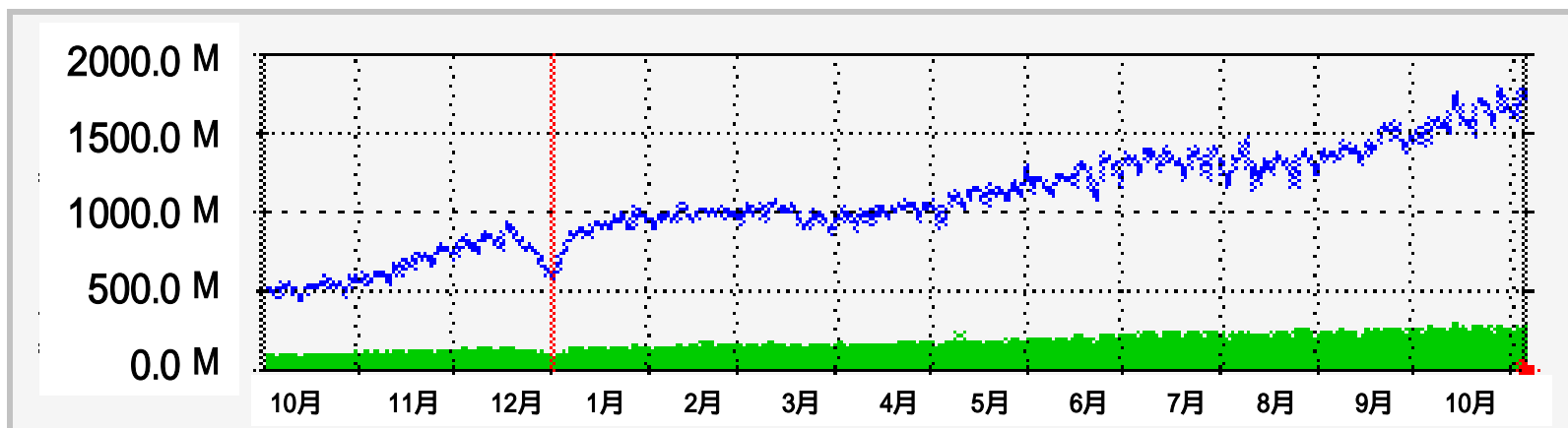


2004年6月期1Q実績 売上: 616百万円 営業利益: 4百万円
2004年6月期予想 売上: 3,000百万円 営業利益: 250百万円

独自資金調達 6億円(2003年7月)

戦略的パートナーとして、ソフトバンク・インベストメント株式会社と資本業務提携。

世界最大規模のトラフィック発信需要に伴い、 10Gbps対応のサービスを開始(2003年9月)



年次トラフィック(1日平均値)は、1年で約4倍の伸びを記録

付加価値型iDC事業の開始

子会社シانس・アール設立(2003年10月)

SCIENCE ARTS

iDC事業を相互補完する大企業向けIT戦略コンサルティング事業を開始。

エッジとの共同事業展開(2003年10月)

第一弾として、ブロードバンドシネマを配信。

コンテンツの企画・制作・配信を一貫して

共同事業化し、レベニューシェアにより収入

を得る、新事業構造を構築。

住友商事とのアライアンス強化(2003年10月)

IRIの持株を譲渡し資本参加。



「Livedoor STREAMLINE」
<http://movies.livedoor.com/>

BBTower業績向上に伴い、IRIの持株比率を51%から62%へ増加(2003年10月)

アジア・ネットコム・コーポレーション(シンガポール)ピーティーイー・リミテッドが所有する全株式を譲受。

【事業別展開】IPネットワーク事業：BBX (株)ブロードバンド・エクスチェンジ



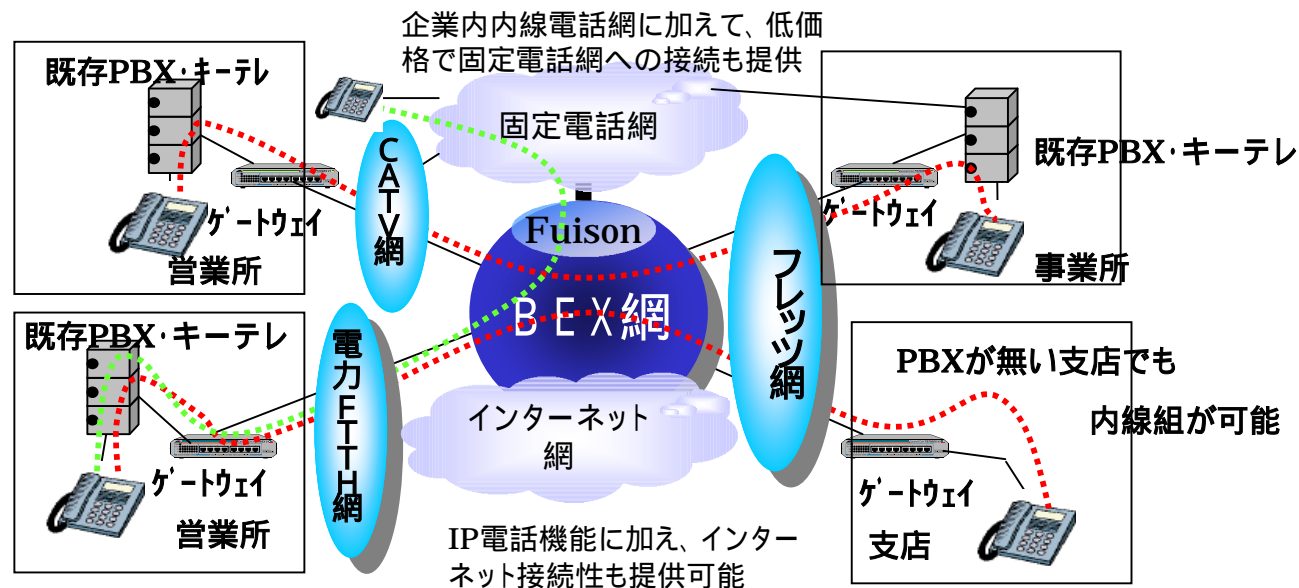
2004年3月期1Q実績	売上：149百万円	営業利益：153百万円
2004年3月期予想	売上：900百万円	営業利益：350百万円

当期より連結子会社化。ブロードバンド・ネットワーク事業に経営資源を集中。

ブロードバンド通信サービス「BEX」の顧客数が着実に増加し、売上拡大。
2003年9月現在、約50社が接続。

IP電話
「BEX Phone」
を展開中。

2003年度中の
単月黒字化・
キャッシュフローの
黒字化が目標。



【事業別展開】IPプラットフォーム事業：TAU

タウ技研(株)



2004年第1Q実績	売上：1,577百万円	営業利益：99百万円
2004年第2Q予想	売上：1,700百万円	営業利益：105百万円
2004年通期予想	売上：6,500百万円	営業利益：450百万円

2004年度第1Q業務実績

(1) 映像、画像におけるコア技術を中心にした製品開発、
製造 (好調)

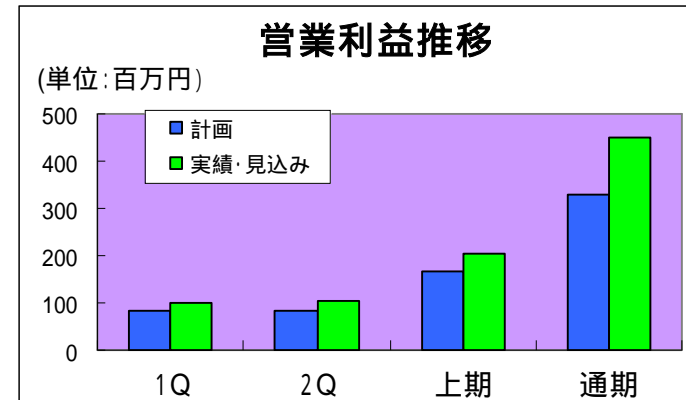
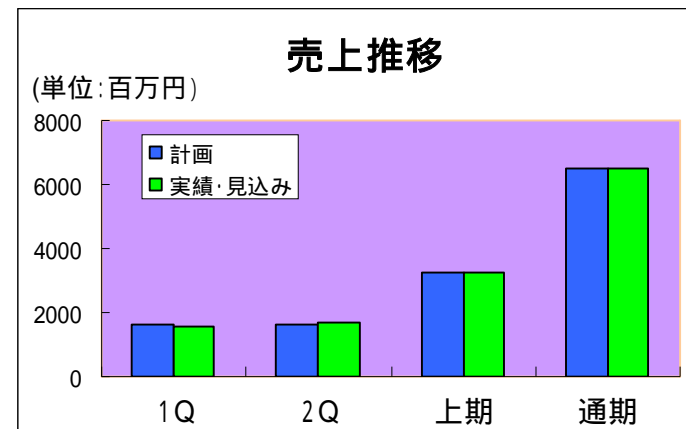
センサーを用いたセキュリティ関連の開発・製造
液晶テレビ用PCボード、液晶プロジェクター用
PCボード

(2) ファームウェア開発受託 (好調)

(3) ソフトウェア事業 (堅調)

(4) 新規事業開発の開始

電子タグ(RFID)利用した製品開発
無線LAN技術、IP技術を利用した
映像、画像システム製品開発



IPプラットフォーム事業キックオフ - - 新事業創造

「ユビキタス製品開発型メーカーとして始動」

コア技術：映像・画像の信号処理技術とネットワーク技術の融合
 加えて IPv6、無線、RFID、センサー

体制：IRIユビキタス研究所と連携して具体的な開発を実施中。

タウ技研式生産受託システム - - - - テクニカルEMS体制の構築

「設計から生産までの一貫した開発・製造アウトソーシング事業」

特徴：設計から、部品調達、生産工場の手配、加えて品質の管理まで、
 品種、数量、納期、納入先に応じて最適な生産システムをカスタムメイドで提供。

ユビキタス時代に向けたエンタープライズソリューションの創造

～“超コラボレーション”の実現に向けて～

エンタープライズコラボレーションネットワークフォーラム(enNetforum)の設立

目的

ユーザ指向の次世代ITネットワーク社会
の実現を目指す。

会長 相磯 秀夫(東京工科大学 学長)

運営委員企業(企業名50音順)

株式会社インターネット総合研究所、

キヤノン株式会社、日本電気株式会社、

株式会社ネットマークス、松下電工株式会社

<http://www.ennetforum.org/>



enNetforum 設立記者会見にて、相磯会長
と運営委員会企業(2003年10月3日)

IRI単体、総額40億円(概算)の資金調達(予定)

リーマン・ブラザーズ・コマーシャル・コーポレーション・アジア・リミテッドに対し第三者割当増資を実施し、資金調達。

20億円 (概算。2003年10月～2005年12月迄、10回 [*注] に分けて発行予定。)

用途: iDC、ブロードバンドに続く当社の新たな成長分野である
ユビキタス関連事業における運転資金に充当する予定。

20億円 (概算。2003年12月に発行予定。)

用途: 会員管理型ISP/コンテンツプロバイダーを対象としたトラフィック
交換事業の展開に伴う事業買収資金に充当する予定。

[注] 第2回の割当における加速オプション行使により、発行予定見込み額が6億円となりました。
これにより、第9回、第10回の発行日程は取消しとなります。

4. トーマツ「日本テクノロジーFast50」の第4位受賞

直近3決算期の収益成長性を基準とした、国レベルのテクノロジー企業ランキング。企業の成長性や成功を知るベンチマークの一つとして世界で認められているプログラムであり、日本では、今年より「Fast50」がスタート。



578%の成長率にて
第4位にランクイン



<http://www.fast50.tohmatsu.co.jp/>

〔3〕 IRIグループの今後の展開

1. ネットワーク全体におけるIRIグループの位置づけ



WEBサーバー
運用支援

トラフィック交換
支援サービス



コンテンツ
事業者

コンテンツ
事業者

コンテンツ
事業者

第2種交換

IRI

第1種交換

BEX
BROADBAND EXCHANGE

レイヤ2交換

jpix

キャリアA

キャリアB

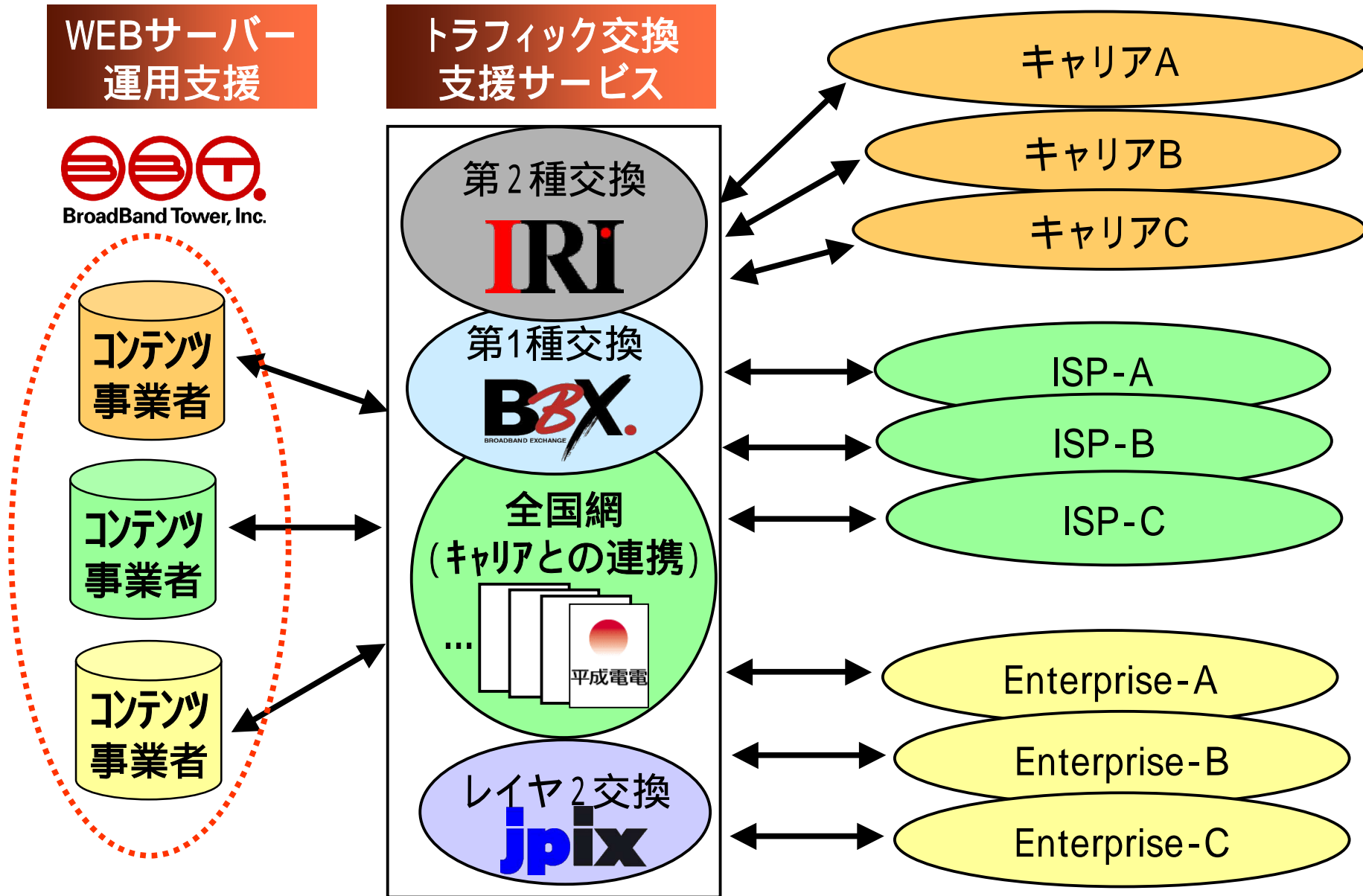
キャリアC

ISP-A

ISP-B

ISP-C

2. 全国網による拡張トラフィック交換サービス(概念図)

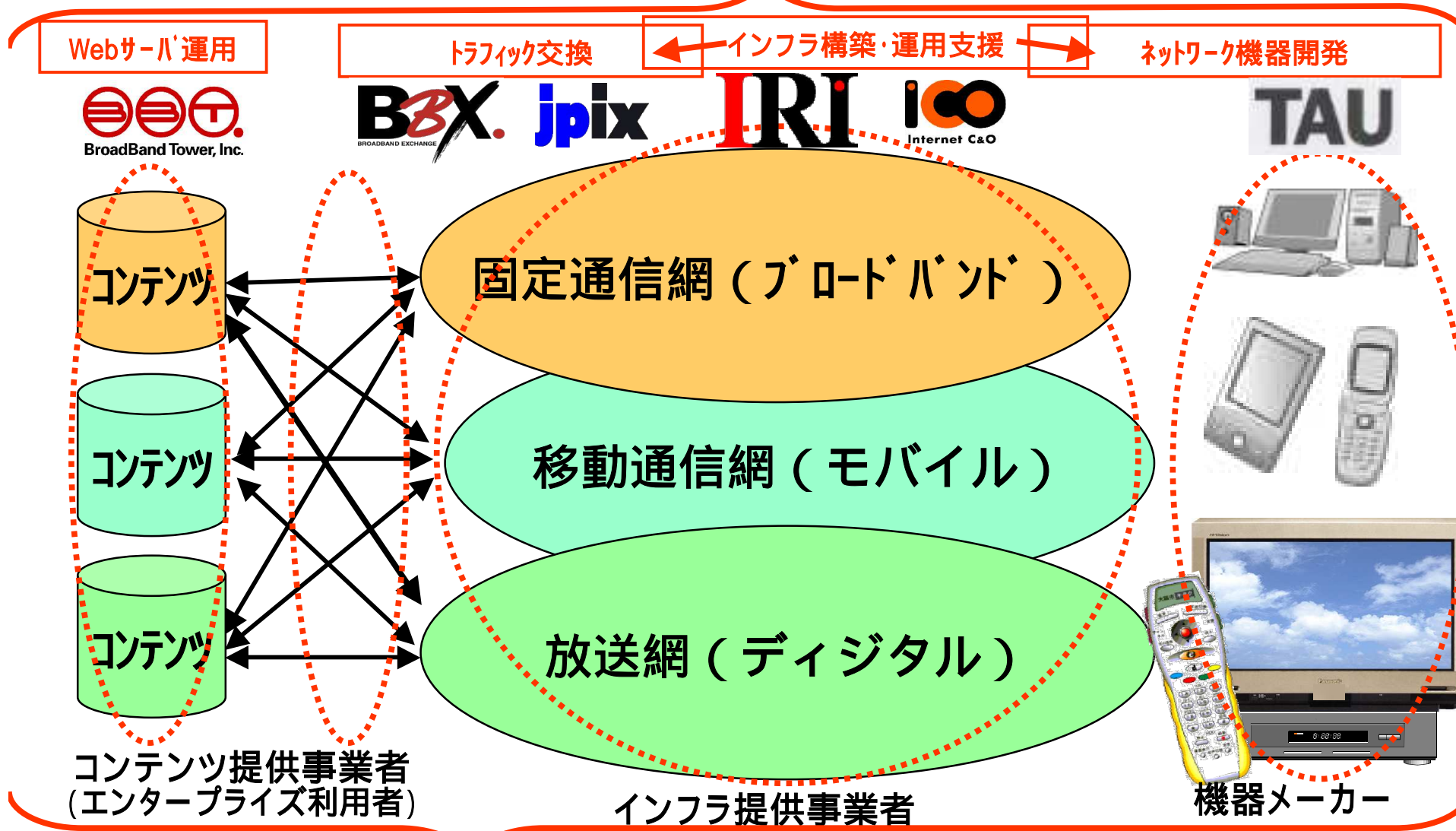


3. ネットワーク市場におけるIRIグループの進む方向性



IRIグループの提供するIPソリューション

脱支援ビジネス!

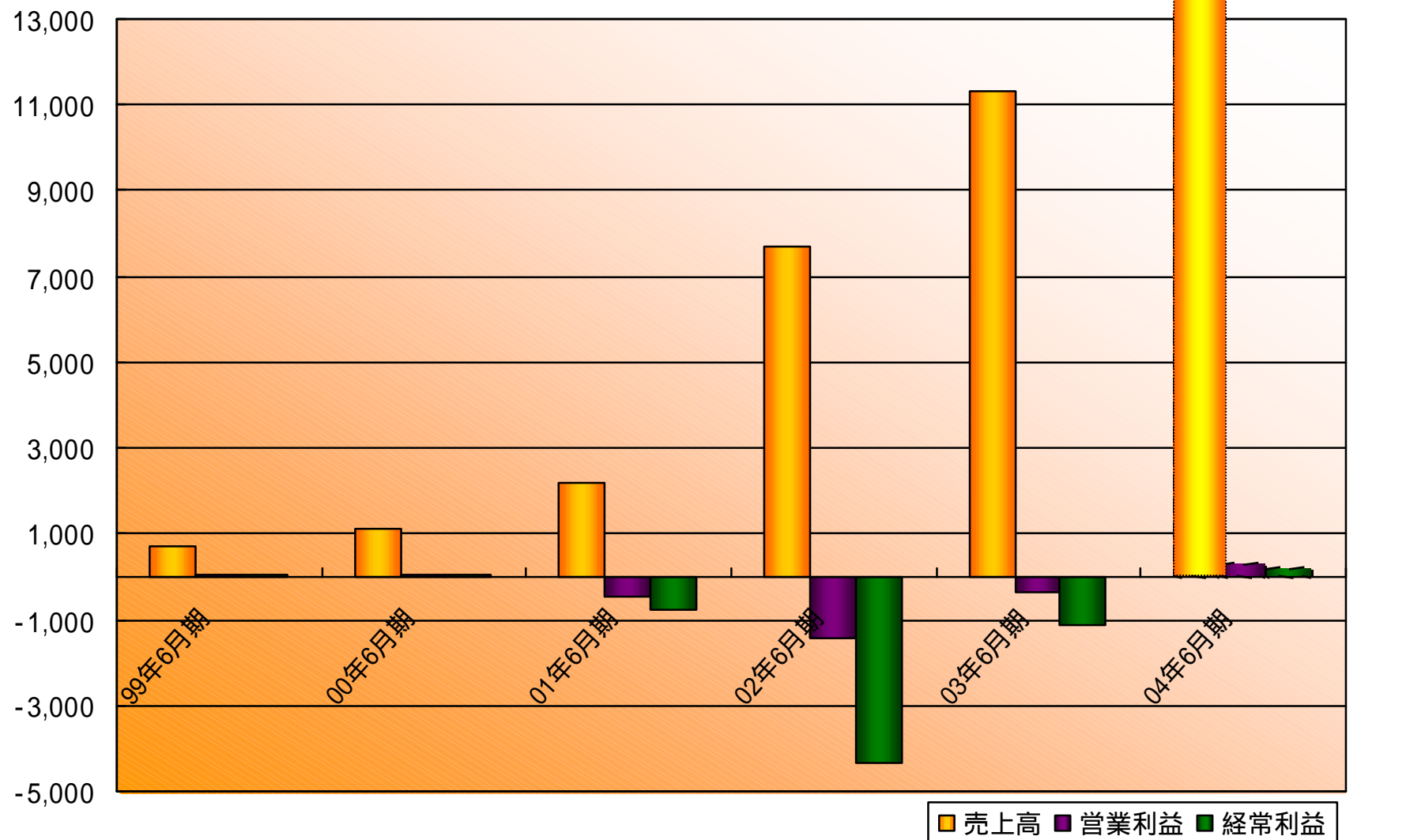


IRIグループの対象顧客

4. 連結業績推移



(単位:百万円)



MEMO

MEMO